

「エシカル消費」普及・啓発

- ・消費者の意識の変化 → 環境や被災地の復興、開発途上国の労働者の生活改善等の社会的課題に配慮した商品・サービスを選択して消費することへの関心の高まり
- ・公正かつ持続可能な社会の形成への参画 → 消費者教育の視野が消費者市民社会の形成へ拡大（「消費者教育の推進に関する法律」平成24年法律第61号）

「倫理的消費」調査研究会

人や社会・環境に配慮した消費行動である「倫理的消費（エシカル消費）」の内容やその必要性等について検討し、国民の理解を広め、日常生活での浸透を深めるためにどのような取組が必要なのかについて調査研究を行うため、平成27年5月から平成29年3月まで、「倫理的消費」調査研究会を開催。

研究会取りまとめ

～あなたの消費が世界の未来を変える～
平成29年4月「倫理的消費」調査研究会 取りまとめ

○倫理的消費（エシカル消費）とは
「地域の活性化や雇用なども含む、人や環境に配慮した消費行動」（消費者基本計画）

消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援したりしながら消費活動を行うこと

配慮の対象とその具体例	
人	障がい者支援につながる商品
社会	フェアトレード商品 寄付付きの商品
環境	エコ商品 リサイクル製品 資源保護等に関する認証がある商品
地球	地産地消 被災地産品
動物福祉、エシカルファッション	

○エシカル消費に取り組む必要性と意義

- ・持続可能性の観点から喫緊の社会的課題を含有
- ・課題の解決には消費者一人一人の行動が不可欠
- ・「安さ」や「便利さ」に隠れた社会的費用の意識が必要

○推進方策の方向性

- ・国民による幅広い議論の喚起、意識の向上
- ・事業者による消費者とのコミュニケーションの促進
- ・様々な主体、分野の協働によるムーブメント作り

広く国民間での理解とその先の行動を期待

各種イベントへの参画

エコプロ2019



第39回暮らしを守る消費生活展（新宿区主催）



消費者庁が実施している「エシカル消費」のイベント

子ども霞が関見学デー

小・中学生を対象に、ワークショップ「世界を変える“スーパー”ヒーローになる方法～自分にも、世界にもいいお買い物の仕方を学ぼう！～」を開催



学校でも活用できる教材の作成・公開

エシカル消費の考え方や社会的課題の解決につながる買物の仕方について学習する動画「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～」を作成し、消費者庁ウェブサイトで公開



今後の方策

- エシカル消費に関連する各種イベントへの積極的な参画、支援（啓発ツール（チラシ、ポスター、動画）の提供・貸与等）
- 学校でも活用できる教材のパッケージ化（教師用の解説書等の作成）
- エシカル消費の普及啓発モデルの検討・実施により、エシカル消費の考え方や行動を広げる

持続可能な開発目標(SDGs)の推進

「エシカル消費」は、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)のゴール12「つくる責任 つかう責任」などに関連する取組として推進している。



○「エシカル消費」の普及に向けた取組

学校でも活用できる教材の作成・公開

消費者庁が実施している子供向けワークショップの前半部分（環境問題や貧困、児童労働等の世界が抱える課題と、その課題解決につながる買物の仕方についての学習）を内容とする啓発用動画「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～」を作成し、消費者庁ウェブサイトにて公開。



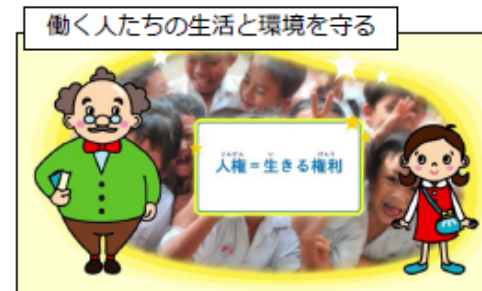
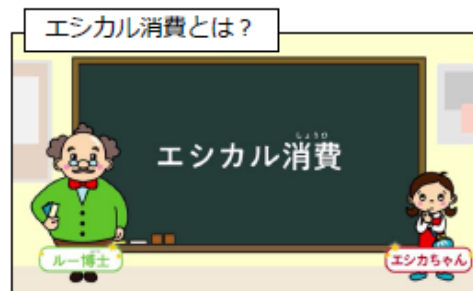
▶チャプター（DVD版）

- | | | |
|--|------------------------------------|------------------------------|
| 1. エシカル消費とは？ | 4. 熱帯雨林とそこに生きる動物を守る
(RSPOの解説) | 7. 地球の資源、環境を守る
(エコマークの解説) |
| 2. 働く人たちの生活と環境を守る
(国際フェアトレード認証ラベルの解説) | 5. 水産資源や環境を守る
(MSC「海のエコラベル」の解説) | 8. チャレンジマップにトライ！ |
| 3. 森と森に住む動物を守る
(FSCの解説) | 6. 大量生産、大量消費、
大量廃棄の生活を見直す | 9. おさらい |



エシカル消費につながる身近な商品や認証ラベルを記入

子供向けワークショップ



今後の取組

「教師用解説書」及び「商品POP（認証ラベルの付された商品の解説資料）」を作成し、学校でも活用できる教材のパッケージ化を図る